

平成 19 年 9 月 21 日

中部飼料株式会社

### 平成 19 年 10～12 月期の畜産配合飼料販売価格のお知らせ

平成 19 年 10～12 月期の畜産配合飼料販売価格については、以下の飼料原料・外国為替情勢などを踏まえ、平成 19 年 7～9 月期に対し、全畜種平均トン当たり約 200 円値下げすることを決定いたしました。

なお、改定額は、地域別・畜種別・銘柄別に異なります。

#### **飼料穀物**

とうもろこしのシカゴ定期は 6 月末の作付面積増加の発表により ¥ 400 台から ¥ 340 台へ下落し、その後、単収改善やサブプライム問題によるファンドのロング解消売りから ¥ 320 台まで下落しました。8 月後半からはヨーロッパと豪州の早魃で小麦価格高騰の影響から強含んでおります。10-12 月期とうもろこし価格は 7-9 月期比、やや弱含みと見ております。

#### **蛋白原料**

米国大豆の作付面積は減少しましたが作柄は順調に推移しております。8 月後半からはヨーロッパと豪州の早魃の影響で急騰しております。大豆粕価格は 8 月中旬、\$220 台が後半 \$240 台、9 月に入り \$250 と高値で推移しております。10-12 月期の大豆粕価格は 7-9 月期比、若干の上昇が見込まれます。魚粉価格は中国の買付数量減から価格は横ばい傾向にあります。

#### **海上運賃**

米国ガルフー日本のパナマックス型海上運賃は ①中国の鉄鉱石輸入量は 1-7 月は前年比 19%増 ②豪州の石炭積出港での滞船 ③南米の穀物輸出需要の堅調な荷動きから 6 月 \$ 80 台、7 月に \$ 90 台、8 月には \$100 台で推移しております。10-12 月期は 7-9 月期比 \$ 20 以上の上昇と見ております。

#### **外国為替**

10-12 月期の外国為替は 7-9 月期対ドルにおいて米国のサブプライムローンの焦げ付き問題から市場の信用不安が起こりドル安、円高傾向に推移し 116 円と想定しております。

\* お問い合わせ先

中部飼料株式会社 経営企画部（田中） TEL：0562-33-2103

以上